

# 日本水環境学会シンポジウム講演集原稿執筆および発表要領 (博士研究奨励賞候補者用)

## I. 講演要旨原稿の作成要領(執筆例参照)

### 1. 原稿用紙および印刷方法

- (1) 原稿サイズはA4としてください。
- (2) 原稿枚数は、図表も含め4枚または6枚までです。
- (3) 原稿はワープロまたはタイプを使用し、黒地で鮮明に印字して下さい。手書きは受け付けません。
- (4) 原稿はそのままの形でオフセット印刷します。A4判上質白紙に、左右各15mm、上20mm、下25mmの余白を取り、その枠内に文章、図表が収まるようにして下さい。

### 2. 原稿作成方法

- (1) 題目、発表者、登壇者は、発表申し込み時に提出された申し込み書と同一のものに限ります。
- (2) 原稿の文字は9~10ポイントの活字(1行45字を目安)とし、行数は50行を目安として下さい。
- (3) 題目、発表者の所属および氏名は、1枚目の1~6行に記入して下さい。なお、講演番号を記入いたしますので、1~4行は左40mmを必ず空白にして下さい。題目は本文よりも大きな活字あるいはゴチックで書いて下さい。発表者の所属および氏名は右に寄せて記入しますが、発表者の多い場合は所属ごとの改行をせず、続けて記入して下さい。また、発表者が複数の場合、登壇者の氏名の前に°印を付けて下さい。
- (4) 5~6行に1コマ目から、題目、発表者の氏名および所属を英語でこの順に続けて記入して下さい。区切りはコンマで示して下さい。所属は、括弧書きとしますが、できるだけ省略した記載法を用いて下さい。なお、前置詞、接続詞等を除く単語は、最初の文字を大文字にして下さい。英語での原稿の場合、この要領で日本語を記入して下さい。
- (5) 本文は2段組とし、7行目から書き始めて下さい。2段組のための中央部の空白は5mmを目安にして下さい。本文は、目的、実験方法、結果、考察、結論などの項に分け、それぞれの文頭にこれらを明示して下さい。研究内容によりこれらの項に分けにくい場合は、項の一部を省略してもかまいませんが、上記に相当する内容を必要とします。
- (6) 記号や略号などは、学会ホームページの投稿論文執筆規定にならして下さい。

(<http://www.jswe.or.jp/kais/jour/kitei/top.html>)

- (7) 特定の商品の宣伝と思われるもの、あるいは内容が不適当と認められるものは、返却もしくは訂正を求める事があります。

### 3. 図表の作成方法

- (1) 図表は黒色で鮮明に作成し、細かい字や図は避けて下さい。
- (2) 図表は、原則として、原稿の右側片段に直接記入するか、または別に作成したものを貼り付けて下さい。図表をトレーシングペーパーなどに書いて原稿に貼り付ける場合は、図表の上端のみしっかりと貼り付けて下さい(ペーパーボンド、両面テープ、スプレーのりがよい。セロテープは不可)。
- (3) 写真の貼り付けは、図表と同様にして下さい。なお、写真に対する特別な配慮はいたしません。

## II. 論文原稿等の送付

- (1) 締切日: 水環境学会誌会告もしくは学会ホームページをご確認ください。

送付物: 以下の書類を、原則として電子的に提出してください。

#### 1) 論文 (A4紙4または6頁)

論文は、原著論文でも、また既発表の内容を含んだ博士課程における研究成果をまとめたものでも構いません。原著論文の場合、他雑誌への投稿を妨げません。

#### 2) 関連する研究業績リスト

学術雑誌論文(水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology, Water Research など), 国際会議論文や国内学会発表論文(講演概要)などのリスト

#### 3) 大学卒業以降の履歴書

- (2) 応募書類送付・問い合わせ先:(社)日本水環境学会シンポジウムオルガノセッション係  
Tel. 03-3632-5351  
E-mail: tamura@jswe.or.jp および  
furumai@env.t.u-tokyo.ac.jp

### Ⅲ. 講演発表要領

#### <発表の心得>

- (1) 優秀講演賞の審査も行われます。時間を厳守し、簡潔明瞭に発表してください。
- (2) 発表は、PC を利用した液晶プロジェクタで行います。各自ノートパソコンをご準備ください。
- (3) 発表にあたっては、次の点に留意して下さい。
  - a. 研究の意義と位置づけ
  - b. 研究に伴って得た周辺知識のまとめ
  - c. 得られた興味深い所見
  - d. 重要な成果の例示
  - e. 得られた所見の有用性
  - f. 今後の発展方向
- (4) 発表者は、発表予定時刻の 30 分前までに必ず発表会場に入場して下さい。

#### <スライドの作成>

以下の点に留意して、スライドを準備して下さい。

- (1) 1 枚のスライドの説明時間：約 1 分(1 分以内で説明できないスライドは好ましくありません。)
- (2) 1 枚のスライドの内容：1 つのテーマの内容とし、盛りだくさんとしなない。
- (3) 表、式はなるべく避け、単純なグラフ、スケッチ等を用いて、シンボリックな表記をする。
- (4) 原図のサイズ：高さ 20cm×幅 20cm 以内(前列の聴講者による死角を考慮し、特に高さは厳守)。
- (5) 文字、記号のサイズ：和文字——1cm 角以上、添字——5mm 角以上、アルファベット大文字——1cm 角以上、小文字——5mm 角以上、記号——4mm 角以上
- (6) 文字の行数：13 行以内
- (7) 文字の太さ：1.0mm 以上
- (8) グラフの直線、曲線等の太さ：1.5mm 以上
- (9) 題目を含む序に相当するものを第 1 ページとする事が好ましい。
- (10) 最後に“まとめ”を箇条書きにすることが好ましい。
- (11) 各スライドの下中央に鮮明にページを付けると質疑の際に言及するのに役立ちます。

An Example of the Manuscript for the Proceedings of the Symposium of JSWE, by Kotaro BIWA ,Sumashi MIZU (Dept. of Sci. & Eng. /Ryukoku Univ.)

【2 段組段間余白 5mm 程度】

1. はじめに

.....

【文字 9~10 ポイント】

2. 実験方法

.....

3. 実験結果

.....

4. 考 察

.....

5. 結 論

.....

表1 実験条件

【図表 右段】

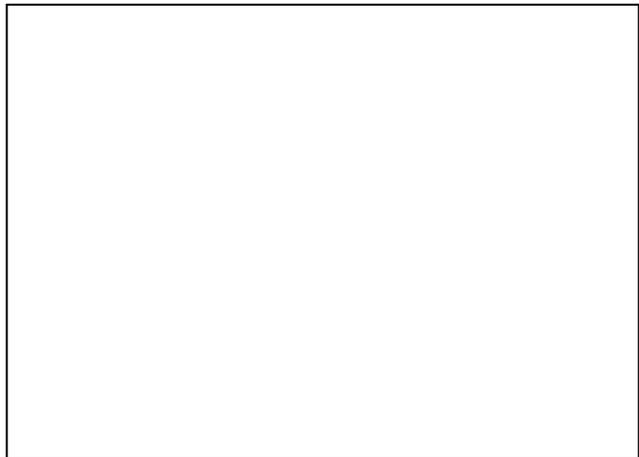


図1 実験結果(1)

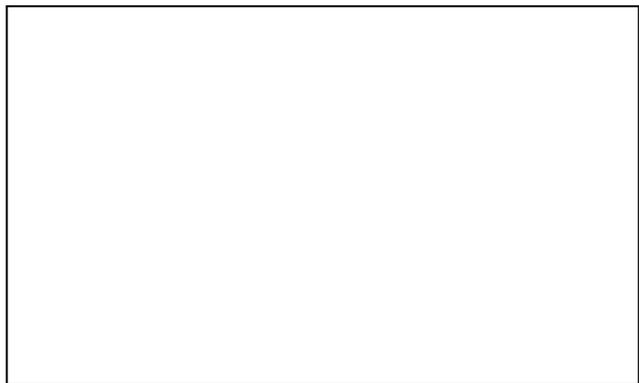


図2 実験結果(2)

参考文献

.....

